

犬馬は難く、鬼魅は易し

参議院議員
客員相談役

藤井基之



今から二三〇〇年以上前、紀元前五世紀の初めから秦の始皇帝が中国を統一するまでの紀元前二二一年までを、中国史では「戦国時代」と呼びます。それまで中国を支配していた周、晋などの国が弱体化し、群雄割拠する戦国時代に突入しました。やがて、戦国七雄と称された韓、趙、魏、楚、燕、斉、秦が興り、それぞれの君主が「王」を名乗った戦国時代の末期、韓の国に「韓非」という思想家がいました。韓非は、人間は生来悪であるとする、いわゆる「性悪説」を思想の根本におき、国を抑えるには「法」によるべしなど、王たるものの天下統一のための心得を書物「韓非子」にまとめました。こ

の韓非の思想を、当時の秦の王政（後の始皇帝）が認め、自国に呼び寄せて重用しました。しかし、彼の才能を嫉妬した大臣等の讒言によって、失脚し非業の死を遂げてしまいます。韓非の思想書、「韓非子」は、今に残りますが、「韓非子」から出た言葉で、今も頻繁に用いられるのが「矛盾」という言葉です。「矛盾」とは、物事のつじつまの合わないことをいいます。漢字で言えば、「矛（剣）」と「盾」ですが、その語源として「韓非子」には次のような有名なお話がでてきます。

『楚の国に、盾と矛とを売っている人がいた。その人が、まず、商品の盾

をほめて、「この盾は大変固くて、これを突き通すことのできる矛はない」と、自慢した。次に、商品の矛をほめて、「この矛はとても鋭くて、この矛が突き通せない盾はない」と自慢した。これを聞いたある人が、「ではこの矛で、この盾をついたらどうなるのか」とたずねた。商人は答えることができなかつた。』

話は、ガラッと変わりますが、六月二十六日、通常国会で、民自公、三党の合意のもと、消費税法案が賛成多数で可決されました。逼迫する社会保障財政を立て直すために、消費税の引き上げを国民の皆様にお願ひすることを中心とした法案ですが、この法案を

巡って与党民主党内が大混乱、七十人もの民主党議員が造反、反対票を投じました。反対の理由は「民主党が政権を取った平成十九年の衆院選では、「消費税引き上げはやらない」と言っていたはず」というもので、その意味では、筋違いな理由ではないのですが、そもそも民主党が衆院選で掲げたマニフェストそのものが、いざ政権に就いたら、実は「実現不可能」のものであったことが露呈してしまいました。

このため、今回の与党民主党の混乱、分裂に対し、マスコミ各紙は、「政党の体をなしていない」、「民主党の歴史的役割は終わった」などと厳しい社説を掲載しました。中でも毎日新聞が、次のように「韓非子」から「犬馬は難く、鬼魅は易し」という説話を引用して酷評しました。これは、次のようなお話です。

「ある時、王が絵の名人に、描くのが最も難しいものは何か、とたずねた。すると、絵描きは、犬とか馬です。

と答えた。では最も楽なものは何か、とたずねると、鬼魅（化け物のこと）です、と答えた。なぜか、と問うと、犬や馬は誰もが慣れていてウソがすぐばれます、しかし、鬼魅（化け物）は誰も見たことがなく、どんなふうにも描けません、と答えた」

政治家の国民との約束が、「矛盾」に満ち、「鬼魅」（化け物のような絵空事）になったら、政治は終わりです。日本再生のため、政治の再出発が必要です。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ

<http://www.mfujii.gr.jp/>

- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条

私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。

高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。

好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」

- 活動報告
参議院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。

- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員(1期目)
平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問
平成22年 参議院議員(2期目)
平成23年 参議院政府開発援助等に関する特別委員会 委員長

- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師